精神科研修プログラム

研 修 施 設　　大泉病院

指　導　医　　石井 弘一・今坂 康志・木村 淑恵

研 修 期 間　　基 本 コ ー ス　　選択必修科目　１ヶ月
小児科・産婦人科コース
産 婦 人 科 主 科　　選択必修科目　１ヶ月
小　児　科　主　科　　選択必修科目　１ヶ月

【一般目標】
総合的な診療能力を身につける一環として、主な精神疾患・状態像の診断、治療の知識、基本的な技術の習得をめざす。

【行動目標】
1. 面接および問診の技術を習得する。
   - 問診のとり方
   - 精神疾患の評価のための知識（精神症状・状態像など）

2. 主な精神疾患・状態像の診断のための知識を習得する。
   - 以下の疾患、愁訴、状態像について知識を習得

   うつ、不眠、せん妄、不安（パニック障害含む）、適応障害、身体表現性障害、幻覚妄想（統合失調症含む）、自殺企図・希死念慮、痴呆、アルコール／物質依存、症候性精神障害、薬剤の副作用としての精神症状

3. 主な精神疾患・状態像の診断・治療のための技術を習得する。
   - 以下の症例を経験する。

   うつ、不眠、せん妄、不安（パニック障害含む）、適応障害、身体表現性障害、幻覚妄想（統合失調症含む）、自殺企図・希死念慮
   - 診断・治療方針を決める。
   - カルテの記載法（SOAP 形式、適切な術語の使用）を学ぶ
   - 看護士に適切な指示を出す。

4. 精神症状への薬物療法を習得する。

・ 向精神薬療法

5. 精神症状への心理社会的介入方法を習得する。
   ・ 患者、家族への指導の実際を学ぶ。

6. コンサルテーション・リエゾン精神医学の実際を経験する。
   ・ せん妄、抑うつ状態などの代表的なリエゾン症例を経験する。
   ・ 主治医（身体科）に情報を提供する。
   ・ 看護に対し適切なアドバイスや指導をする。

7. 院内他職種との連携のための技術を身につける。
   ・ 看護士との合同ミーティング
   ・ 薬剤師、ケースワーカーなどを含む病棟カンファレンス

8. 臨床検査（心理テスト、脳波など）を理解する。
   ・ 心理テスト
   ・ 脳波

【方法】
・ 精神科外来での陪席、予診
・ 精神科病棟で副主治医として患者を担当
・ 身体科リエゾンで症例を担当
・ 診断、治療のための知識、薬物療法、臨床検査については講義も行う。
・ 希望者には精神科専門病院の見学も検討する。
・ 看護士のスタッフミーティングに参加する。
・ 病棟カンファレンス、症例検討会などの機会に発表を行う。

【評価】
・ 評価はＥＰＯＣを使用し、自己評価及び指導医の評価を行う。